

後者刪家系
完

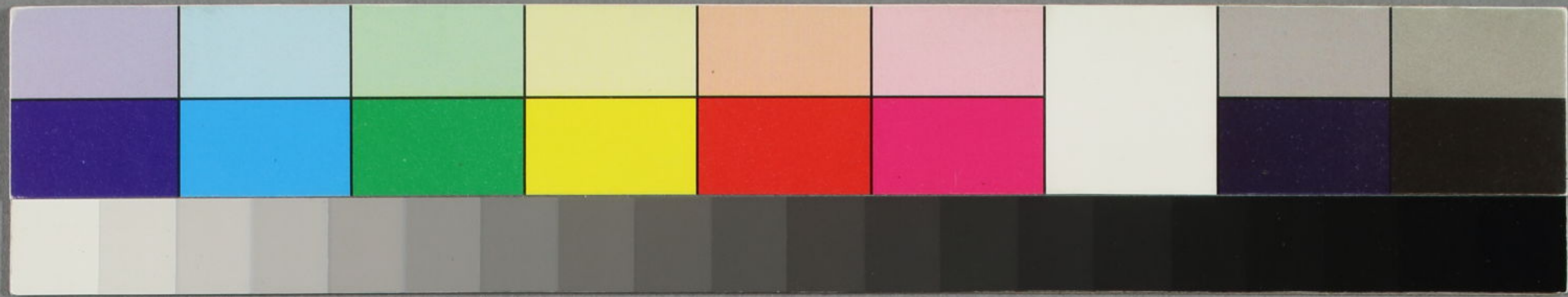
後者刪家系
大坂

後者刪家系
京

始制

特別
千13
3849
21





3847
21

21

没者剛家系

京之巻目録

祇園精舎乃

姉此声

法身之姓名

疎あり

深始末此紙の死

東社送惑れ理と

斎る者常屋小換

心道なる人物なり



只角白きい

芝居志楽

親長戀魚

又給へく

菊木戸中

忠々たお花

痲痺中興

若乃子侍

打拵くまひ打

柳の木れ音

角々つとぬ

勝々々々

糸一芝居類後者目録
後代布袋屋柳三郎社幸深松雲次郎

▲立役之部

○凡立役屋小巻のりたのど

上上吉 柳山良三郎

ふやと切と但わびの山洋

上上吉 山下又右郎

ゆもかも氣と付て二役の守り

上上吉 深松七三郎

ふつて巻よ白ひのあは番突

上上吉 坂東満彦

かまへいぶたふの 火をけ

上上吉 中村正彦

まへちのいさまのすまご

上上 尾上門吉郎

どうふもかたふらふのあは

▲突あつて部

上上吉 今村七三郎

町中がふんと月千代さう

ふ出 三辨登友道

▲款後之部

上上音 深川以長湯

仕内と大さふひあけての樹

上上音 山幸七道

仕内と大さふひあけての樹

上上 依川今又席

仕内と大さふひあけての樹

上 藤原後帝 一上浦山七又席

▲乃卯之部

上上音 富沢江戸彦

仕内と大さふひあけての樹

上上 芳沢四席七

▲花車形之部

上上音 依野川控七

仕内と大さふひあけての樹

上上音 山風富之脚

仕内と大さふひあけての樹

上上音 三保本七又席

仕内と大さふひあけての樹

上上 久本吉三席

仕内と大さふひあけての樹

上上 中村徳三席

仕内と大さふひあけての樹

上上 大和山仙助

仕内と大さふひあけての樹

上上 深松重次席

仕内と大さふひあけての樹

上上音 古今将吉席

仕内と大さふひあけての樹

▲子波之部

上上音 難波松之助

仕内と大さふひあけての樹

上上音 奈良松之助

仕内と大さふひあけての樹

上上音 足付の位

仕内と大さふひあけての樹

暇とてわたりて大のどろろとてななり
先へ神祇社の修り多しとて其の修り
かゝるを奉りてしてその由をいひ
好むかひふとの高きふと徳義の
至し其級のひらきとてあまひて候か
ひつとるやぐまくと其級の意は
ども。其の事表こそめとていふ也

宝暦六年

庚子正月

東三原寺町南

徳島赤松の板

日三原寺町西

正午登九芸清板

日三原寺町東

八文字登八芸の板

役者剛筋系

大坂之巻目録

天満社神祀

せりまの初ね云の

夜露附

年始め

こゝろのよの

走のほろの甘巻

うけての積板の毛纏

妻帯か入目れ

海面

わらびわらびふふりりななむむととままつつくく

いいくくままかかりりぬぬ

川川見見有有りりままららぬぬ

仕仕合合ひひままいいししぬぬ

桑桑白白山山

ままりりののれれいい

浪浪中中志志茂茂入入

他他かか〜

打打おおんんぬぬ

大大湊湊乃乃驅驅ひひ

大坂三ツ石居越後者同縁
名代松中松尾高村中岡三葉の
名代大和屋長宗松中松尾山文七
名代破屋若孫物松中松尾依表

▲立波之部

○乃立大坂町並之者ひれのぞ〜

上吉 市川忠茂市川忠茂

高松名匠人高松名匠人一丁目筋

上吉 和吉山文七和吉山文七

毎々法人の書で分付村町

上吉 山本京宣山本京宣

山下御と孫り山下御と孫り安土町

上吉 三株大又三株大又

乃立小宗と一松町

上吉 市井川丸市井川丸

乃立小宗と一松町

上吉 竹中芸者竹中芸者

乃立小宗の事と一松町

上上吉 嵐 友十郎 日元

上上吉 今二回まかひの 石河

上上吉 山下次郎 三郎 日元

上上吉 友十郎 歌波と 西谷河

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 嵐 三又郎 日元

上上吉 尚年 友十郎 日元

上上吉 沢村 助十郎 日元

上上吉 何とまとも 親相 日元

上上吉 深山 宗十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 嵐 友十郎 日元

上上吉 今二回まかひの 石河

上上吉 山下次郎 三郎 日元

上上吉 友十郎 歌波と 西谷河

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 嵐 三又郎 日元

上上吉 尚年 友十郎 日元

上上吉 沢村 助十郎 日元

上上吉 何とまとも 親相 日元

上上吉 深山 宗十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上上吉 友十郎 友十郎 日元

上三秋川終年決是上秋野山推十部 此山
上夏川大谷為上中村六十部 此

上上書 ▲乃介形之部
大松山物 山平丸

上上書 大松山物 山平丸
かひさみ後とくふる久き河

上上書 ▲秋車形之部
坂田文十部 此丸

上上書 ▲乃介形之部
泉 平三部 此丸

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上上書 ▲乃介形之部
乃介形之部

上 上 上
上吉 上吉 上吉
風小 風小 風小
桐花谷 桐花谷 桐花谷
風小六 風小六 風小六

上上 上上
▲為元形之部
小川右之部 風花

上上 上上
▲為元形之部
中村八 風花

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

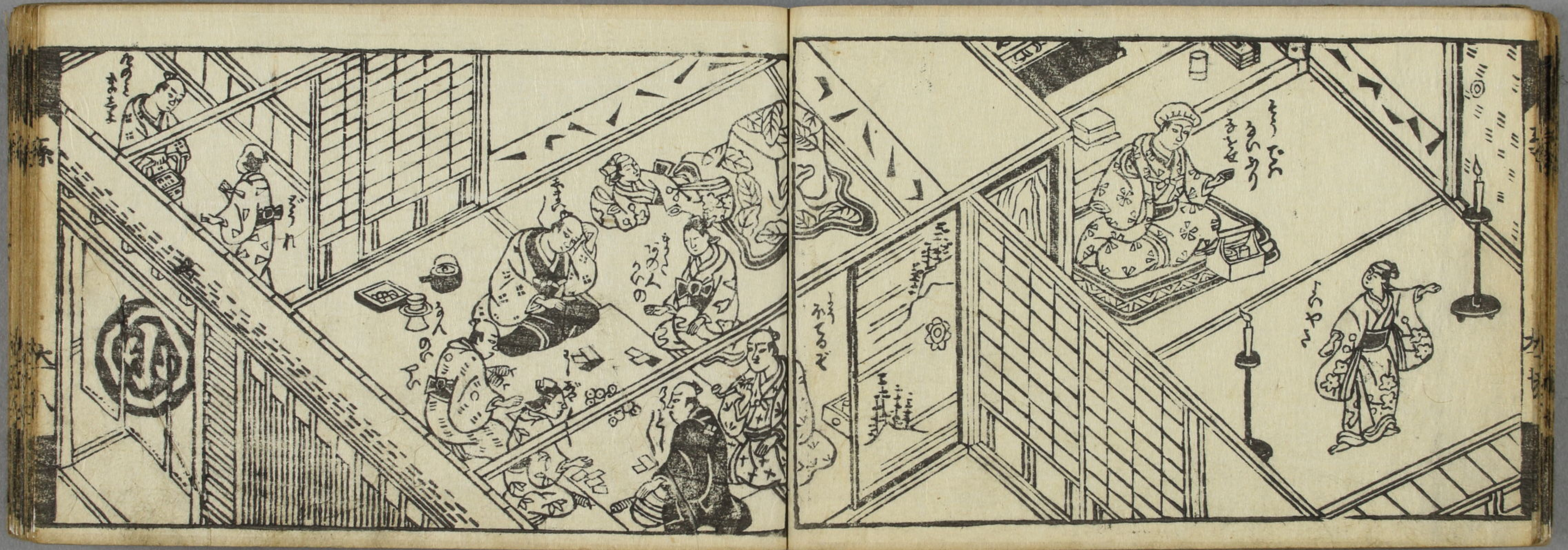
▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部

▲為元形之部
▲為元形之部
▲為元形之部



かひひまろ結かきあふま品の人
たんだのほほあふあふあふと
るあふあふあふあふあふあ
くあふあふあふあふあふあ
あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふ

あふあふあ

あふあふあ

あふあ

自換

あふあ 作者

瑞笑

あふあ

あふあ

▲あふあ

上言回 市川團扇 あふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ

あふああふああふああふあ



天照大神
岩戸
三座
嵐座
十月廿日ヨリ

えん
の
えん

八
の
八

新
の
新

大
の
大

ひ
の
ひ

川
の
川

平
の
平

中
の
中

後
の
後

九
の
九

良
の
良

三
の
三

大
の
大

三
の
三

大
の
大

三
の
三

大
の
大

三
の
三

大
の
大

三
の
三

大
の
大

三
の
三

大
の
大

三
の
三

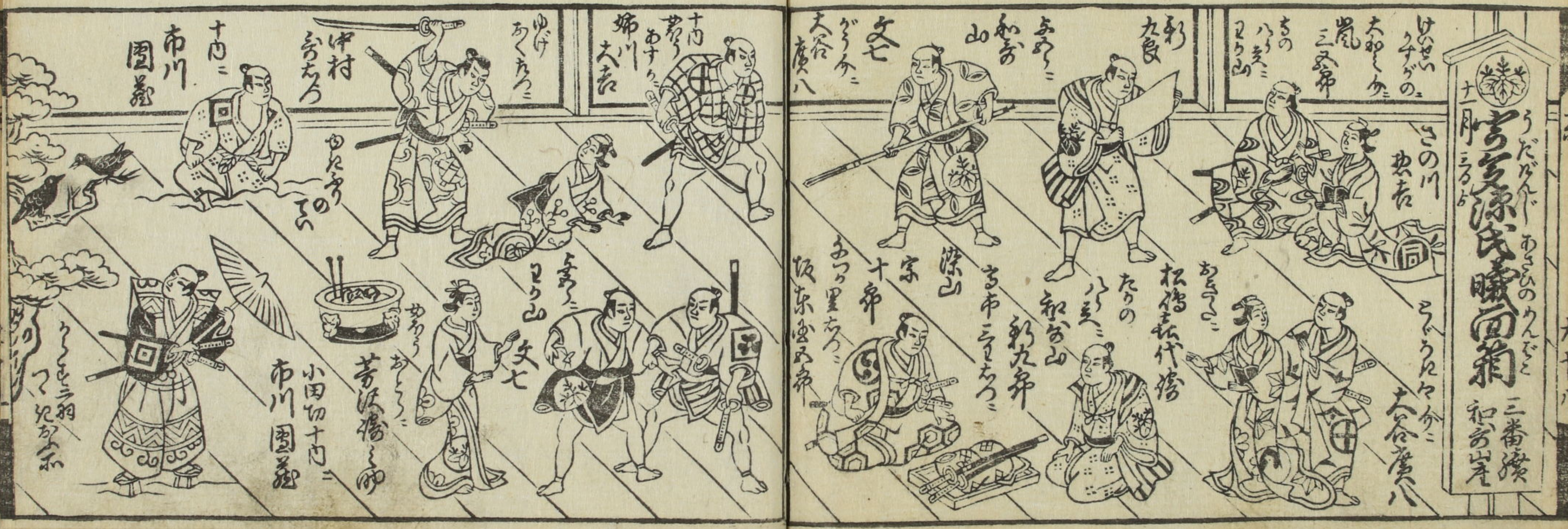
大
の
大

三
の
三

大
の
大

三
の
三

大
の
大



うだぐん
あまのうんご
三番濱
和歌山
十月三日
源氏晴向菊

けいせい
うすぐの
大和
二又
さの
八つ
日

彩
九良

あめ
山

文七
かろ
大谷
八

十四
あす
婦川
大表

仲村
あたら

十四
市川
園

この川
表

あまの
松徳
たりの
八つ
新九良

深山
宗
十
あつ
坂東

あつ
あつ
文七

あつ
あつ
小田
市川

あつ
あつ

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a record. The text is dense and fills most of the page.

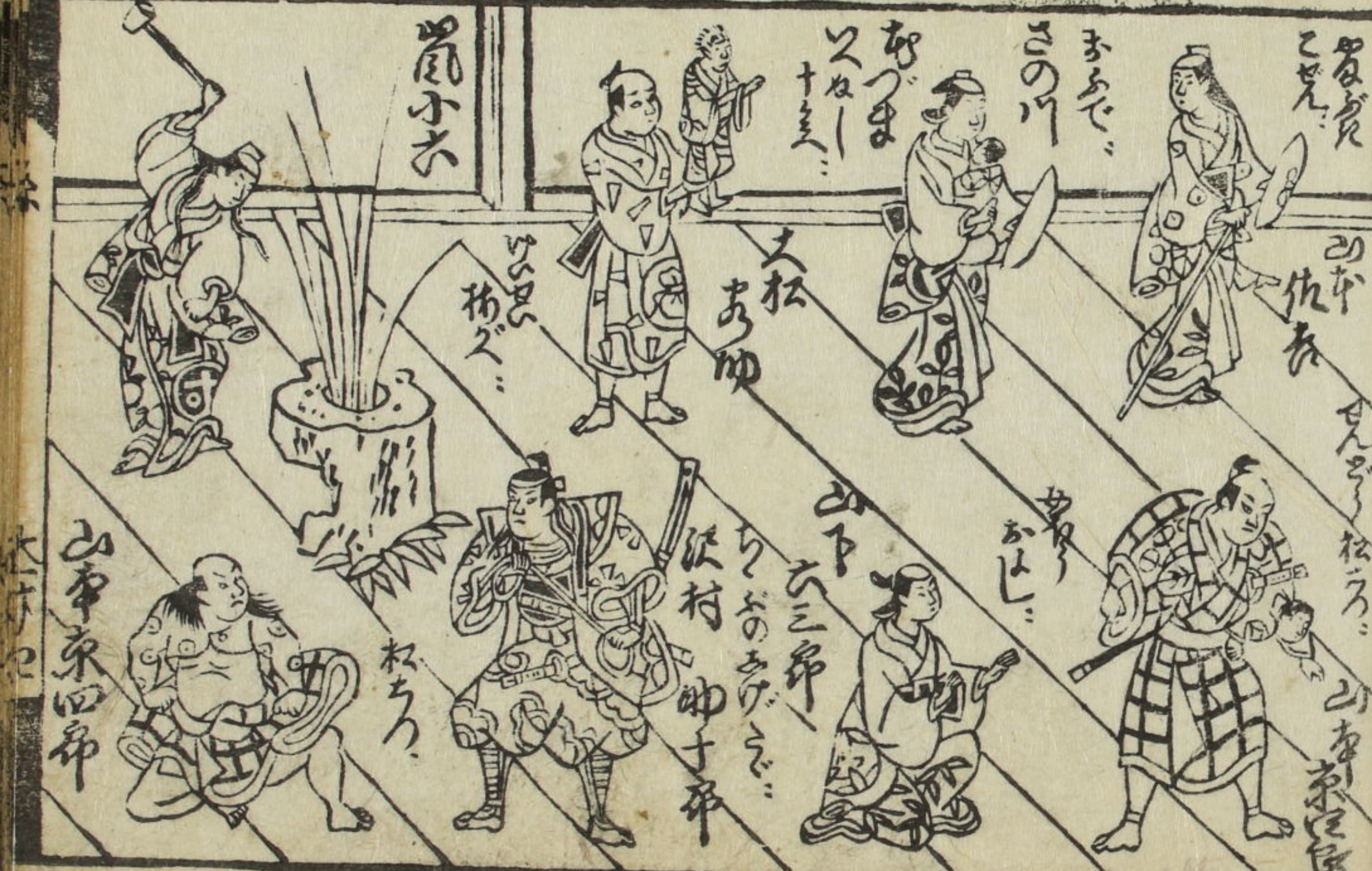
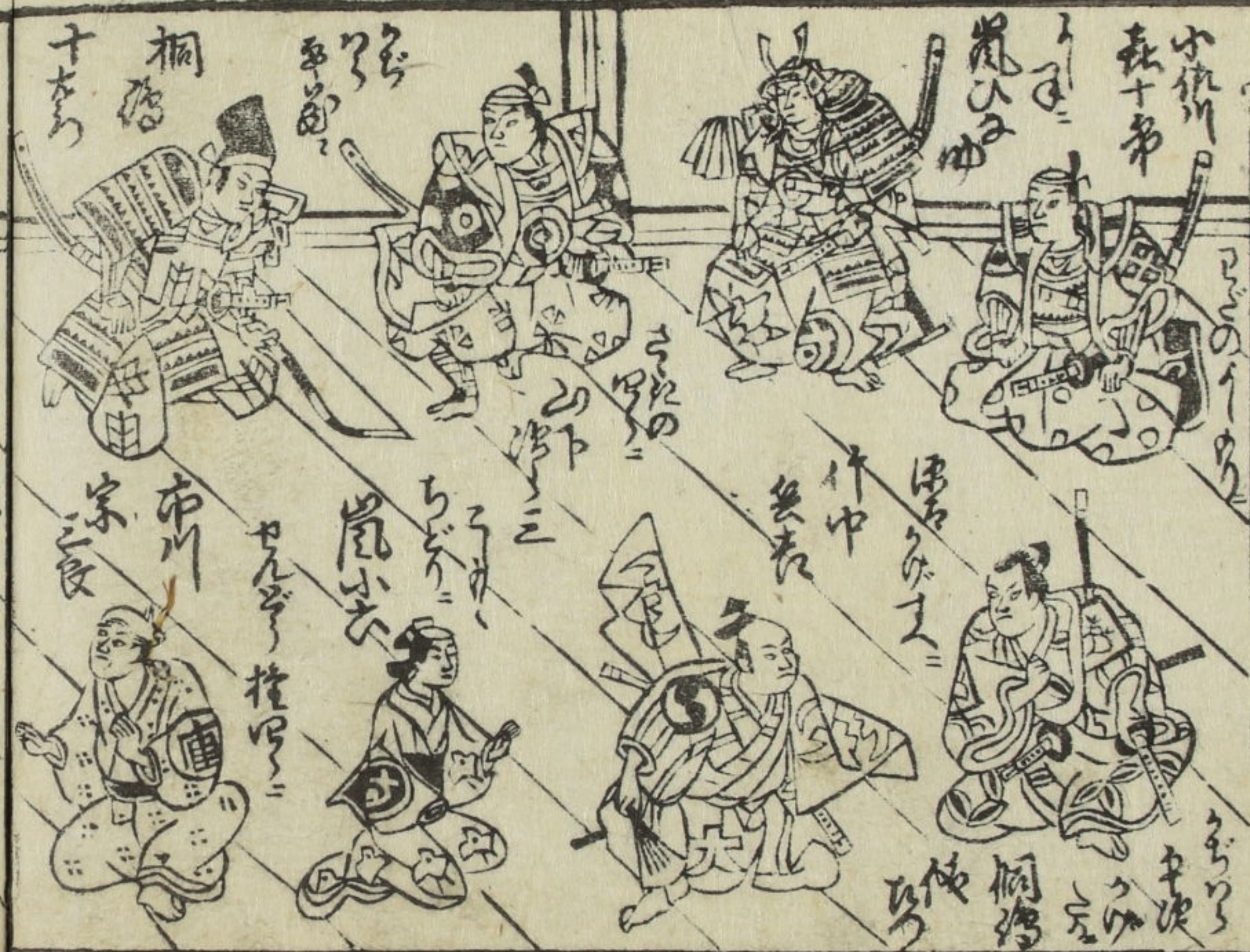
▲ 實地部

極吉 田 五山平九節 房光

南教各天無善祥善優優子子極吉

Handwritten text in a cursive script, continuing the record or letter. The text is dense and fills most of the page.

ひらき盛事記 丑辰後
十月廿七日より
山中座



心子...
...
...

▲ 衣車形之部

上上書 ③ 坂田文十部

④ 尚教...
...
...

上上 ⑤ 泉 泉 年 二 部

⑥ 尚教...
...
...

▲ 名 女 形 之 部

上上書 ⑦ 芳 沢 橋 之 部

⑧ 尚教...
...
...

⑨ 尚教...
...
...

⑩ 尚教...
...
...

⑪ 尚教...
...
...

⑫ 尚教...
...
...

⑬ 尚教...
...
...

⑭ 尚教...
...
...

⑮ 尚教...
...
...

⑯ 尚教...
...
...

⑰ 尚教...
...
...

⑱ 尚教...
...
...

⑲ 尚教...
...
...

⑳ 尚教...
...
...

㉑ 尚教...
...
...

㉒ 尚教...
...
...

㉓ 尚教...
...
...

㉔ 尚教...
...
...

㉕ 尚教...
...
...

石原内侍の事... 物産の事... 上吉

上吉 ① 師川大吉 日吉

② 打草... ③ 打草... ④ 打草...

⑤ 打草... ⑥ 打草... ⑦ 打草...

⑧ 打草... ⑨ 打草... ⑩ 打草...

⑪ 打草... ⑫ 打草... ⑬ 打草...

⑭ 打草... ⑮ 打草... ⑯ 打草...

⑰ 打草... ⑱ 打草... ⑲ 打草...

⑳ 打草... ㉑ 打草... ㉒ 打草...

㉓ 打草... ㉔ 打草... ㉕ 打草...

上吉 ① 松崎松代 日吉

② 打草... ③ 打草... ④ 打草...

⑤ 打草... ⑥ 打草... ⑦ 打草...

⑧ 打草... ⑨ 打草... ⑩ 打草...

⑪ 打草... ⑫ 打草... ⑬ 打草...

⑭ 打草... ⑮ 打草... ⑯ 打草...

⑰ 打草... ⑱ 打草... ⑲ 打草...

⑳ 打草... ㉑ 打草... ㉒ 打草...

㉓ 打草... ㉔ 打草... ㉕ 打草...

㉖ 打草... ㉗ 打草... ㉘ 打草...

㉙ 打草... ㉚ 打草... ㉛ 打草...

上戸 山平佐長 九廿

○丸 去るに云ふ所の及子に於ては其業
中ノ物に半はせし者其後其の業を
紀ノ國守の役を弁て後其後其の
中ノもの多し其の及子に於ては
其業を其の及子に於ては其業を

上吉 叶 菊 小 六 廿九

○丸 去るに云ふ所の及子に於ては其業
中ノ物に半はせし者其後其の業を
紀ノ國守の役を弁て後其後其の
中ノもの多し其の及子に於ては
其業を其の及子に於ては其業を
○丸 去るに云ふ所の及子に於ては其業
中ノ物に半はせし者其後其の業を
紀ノ國守の役を弁て後其後其の
中ノもの多し其の及子に於ては
其業を其の及子に於ては其業を

○丸 去るに云ふ所の及子に於ては其業
中ノ物に半はせし者其後其の業を
紀ノ國守の役を弁て後其後其の
中ノもの多し其の及子に於ては
其業を其の及子に於ては其業を
○丸 去るに云ふ所の及子に於ては其業
中ノ物に半はせし者其後其の業を
紀ノ國守の役を弁て後其後其の
中ノもの多し其の及子に於ては
其業を其の及子に於ては其業を

▲ 元形之部

主 ④ 小川者之部 九廿

○丸 去るに云ふ所の及子に於ては其業
中ノ物に半はせし者其後其の業を
紀ノ國守の役を弁て後其後其の
中ノもの多し其の及子に於ては
其業を其の及子に於ては其業を

上上 中村八五 廿九

あつた家の暇にたつたをりかたの四
多の法向をたつたをりかたの四
お給より受とてく揮てるも給の
角はたつたをりかたの四
はくたの法向をたつたをりかたの四
はたつたをりかたの四

宝曆八年

壬正月吉日

東寺町二条角

徳富屋在右の板

日三條通古所あり丁

正平屋五右衛門板

日教屋町文院下丁

八文字屋八右衛門板

後者剛家系

江戸之巻 目録

引幕へ續りよの

又十三次

的波の御妻れ夫へ

かゝ尻よ来たれ

二巻はたの

夫馬の上吉人

引幕の玉女の前巻

趣乃久蒙帽子女

わもよ奪ふ曉は縁五

歌と夫先くあつさうく

あつさうくれ掛あつさ

雲ふひぐ富士山

霞の衣とて池

あつさうく

お史中れ定波

あつさうくもあつさう

宿々志中陣

い具負

大井川

よごみれなる三波形

いんまき結後者同縁

さつしん 中村幼三郎

ふさふさ 市村宇左衛門

こびり 赤田勘次郎

▲立波之部

○尺素子定波お家なご

上吉 市川圓十郎

上吉 大谷廣次

上吉 尾上菊八郎

上吉 中村七三郎

上吉 高沢辰十郎

上吉 坂東三三

上吉 坂東三三

上吉 坂東三三

上吉 坂東三三

上吉 坂東三三

上吉 坂東三三

上上 松山二十市 桑田

上上 知のぶのり(一) 桑田

上上 山中年九市 桑田

上上 市川壹八市 桑田

上上 村三零八市 桑田

上上 津打門三市 桑田

上上 市川新江市 桑田

上上 桐井谷七市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

上上 上坂新橋市 桑田

▲実地之部

上上 中村助八市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 中村三市 中村

上上 沢村松十郎 中村

上上 中村三甫 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 沢村松十郎 中村

上上 中村三甫 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上上 市川初十郎 彦 日丸

上吉 中村松代三郎 中村松

多力松代三郎 中村松代三郎

上吉 中村久米三郎 日次

少力松代三郎 中村久米三郎

上吉 嵐和云野 中村松

多力松代三郎 嵐和云野

上吉 長壽屋茂茂 日次

少力松代三郎 長壽屋茂茂

上吉 小佐川孝吉 中村松

多力松代三郎 小佐川孝吉

上吉 萩野八重桐 中村松

少力松代三郎 萩野八重桐

上吉 沢村吉三郎 中村松

多力松代三郎 沢村吉三郎

上吉 山下金三郎 中村松

少力松代三郎 山下金三郎

上吉 沢村仁三郎 中村松

多力松代三郎 沢村仁三郎

上吉 三條松代三郎 中村松

少力松代三郎 三條松代三郎

上吉 萩野大吉 中村松

多力松代三郎 萩野大吉

上吉 市川松三郎 中村松

少力松代三郎 市川松三郎

上吉 子波之部 中村松

多力松代三郎 子波之部

上吉 萩川吉次 中村松

少力松代三郎 萩川吉次

上吉 坂本孝三郎 中村松

多力松代三郎 坂本孝三郎

上吉 坂本又吉三郎 中村松

少力松代三郎 坂本又吉三郎

上吉 中村和次郎 中村松

多力松代三郎 中村和次郎

上吉 嵐子松次 中村松

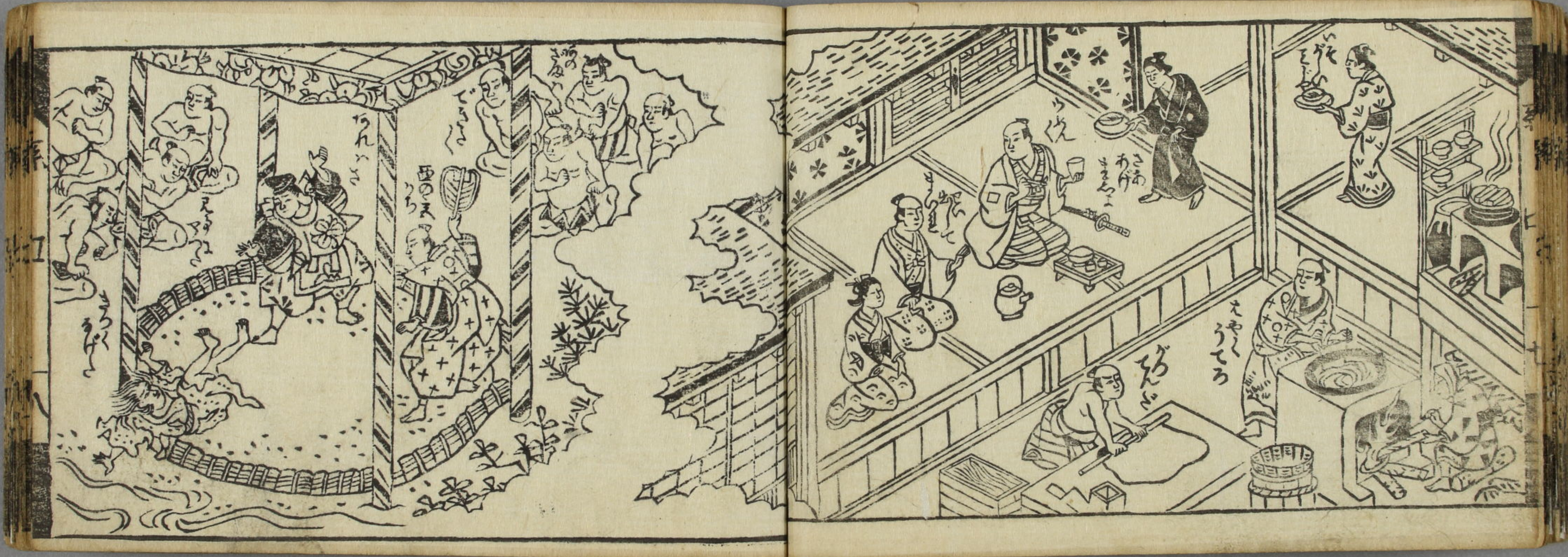
少力松代三郎 嵐子松次

上吉 中村及子三郎 中村松

多力松代三郎 中村及子三郎

上吉 三條松代三郎 中村松

少力松代三郎 三條松代三郎



ふさの甲と後天相の甲中區は水かさ
此の甲を引取るともさるるに及ぶと
水かさの進みは急まざるに似たり
が是れ又入るに似たりと云ふは
上言 田 中村七二節 中村九

註 候時清方録より引くに足利が中村
七二節と叙す所より七二節は清方録の
本年十月の今の中村が是れの内は甲の
字條七年後のことなり中村は甲の字條
總て甲の字條の邊なりと云ふは
十三年の清方録と後天相の字條は甲の
字條より引くに似たりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは

高田の轉換が故の事にして後天相の
事と云ふ事の内は甲の字條より引く
候時清方録の事なりと云ふは
甲の字條より引くに似たりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは
甲の字條の邊なりと云ふは

上言 高田十節 高田
高田十節 高田十節 高田十節
高田十節 高田十節 高田十節
高田十節 高田十節 高田十節
高田十節 高田十節 高田十節
高田十節 高田十節 高田十節
高田十節 高田十節 高田十節
高田十節 高田十節 高田十節

高田十節 高田十節 高田十節

異時指南車 以後 田産

この
河衣



この
市松



この
市松



この
市松



この
市松



この
市松



この
市松

この
市松

この
市松

この
市松

この
市松



この
市松



相宗の母の乳母中流の事は昔は也
の事いひこの事方おわんは同様の事
[註] 中流尾事流毎成乃の事也其成
乃の事とていふは相宗の母とて思ふ事
也南の事とて思ふ事也此の事とて
中流の事とて思ふ事也

同中流の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也

もの事は相宗の母の事
中流の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也
此の事とて思ふ事也

上上回 中村宗公三郎 宗公

さて如く申付た五八株を東北の地へ移す
の事及びその次第は如くして先般角の
つゝのりもさきかきとて三つの地へ
移す。一、神宮の地へ移す。二、神宮の地へ移す。
ついで、神宮の地へ移す。三、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。四、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。五、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。六、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。七、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。八、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。九、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十、神宮の地へ移す。

移すの地へ移す。十一、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十二、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十三、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十四、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十五、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十六、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十七、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十八、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。十九、神宮の地へ移す。
移すの地へ移す。二十、神宮の地へ移す。

此の御書は中世の御書

此の御書の御書は中世の御書
中村村出之室の御書は中世の御書
中村村出之室の御書は中世の御書
中村村出之室の御書は中世の御書

同書

室三階八年

室三階八年

室三階八年

室三階八年

室三階八年

室三階八年

室三階八年

室三階八年

